

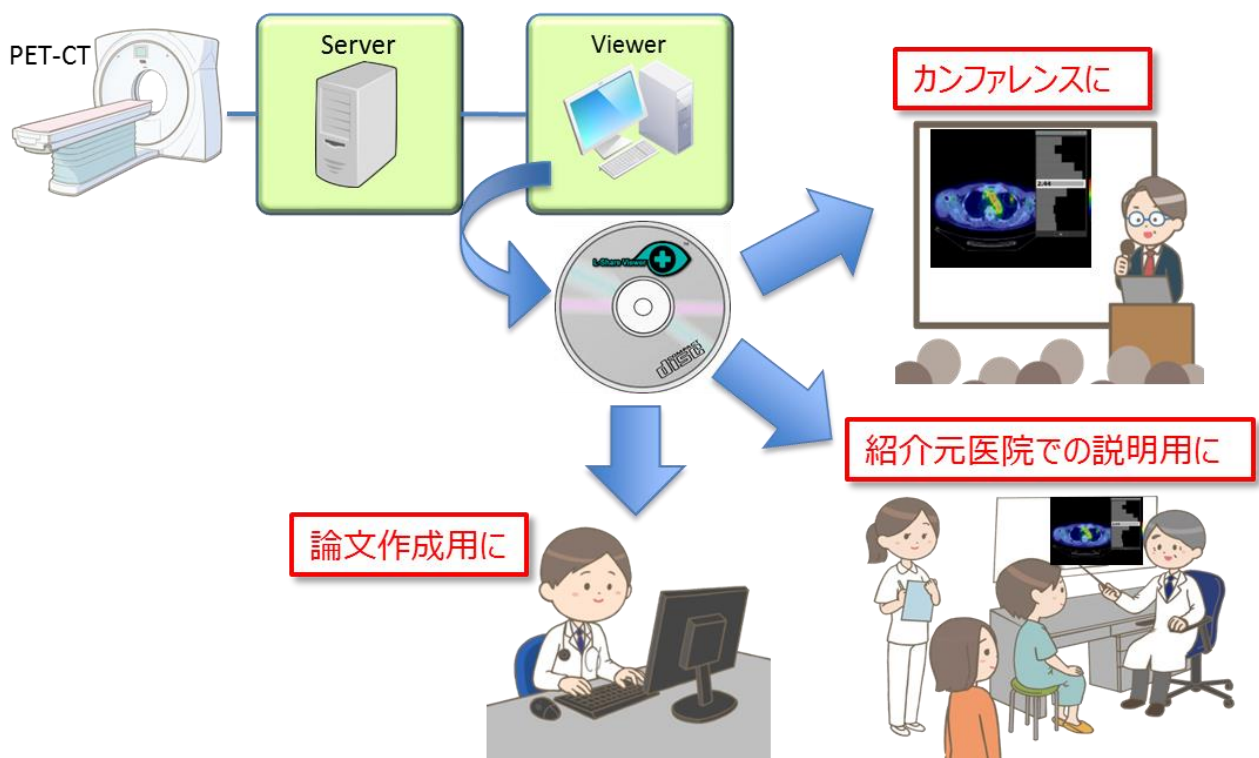


画像診断ビューア「L-Share Viewer（エルシェアビューア）」 の配布用ビューア作成機能をバージョンアップ

株式会社アイ・エス・ビー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：若尾一史）は、L-Share シリーズ製品の画像診断ビューア「L-Share Viewer（エルシェアビューア）」（以下、L-Share Viewer）の配布用ビューア作成機能について、この度特許を取得し手軽に利用できるようバージョンアップいたしました。

これにより、L-Share Viewer が配布された病院や、施設先で製品をインストールすることなく、配布メディア（DVD など）からの直接起動や、画像参照に利用する PC にコピー、起動するだけで、L-Share Viewer のすべての機能が利用できます。

より利用しやすくなった L-Share Viewer を導入いただくことで、院外施設への患者紹介や、院外でのカンファレンス、研究論文の作成などでも PET-CT を用いた診断に効果的な機能（SUV navigator/部分容積効果補正解像度増加法）を活用することができます。また、PET-CT だけではなく、L-Share Viewer で診断したすべての医用画像でも活用することが可能になります。



L-Share Viewer 配布ビューア機能利用シーン

●配布用ビューア作成機能の特許について

L-Share Viewer の配布用ビューア作成機能は、下記特許を取得しております。

- 特許 No.6767526 プログラム、可搬記録媒体、及び使用制限方法
- 特許 No.6817481 プログラム及び実行ファイル生成方法

多くの製品は、機能制限をつけた簡易的なビューアを配布していますが、L-Share Viewer は、本特許により、配布先のビューアプログラムが、配布元で紐づけられた患者画像データのみ閲覧できるようになるため、機能の制限をつけることなく、ビューアプログラムの配布が可能となります。また、配布先で L-Share Viewer のソフトウェアをコピーされたとしても、配布元で紐づけられた患者画像データしか使用出来ないため、汎用的な利用を制限することができます。

●今後の展開

L-Share Viewer は、PET-CT 診断の効率化だけでなく、今後様々な医療機関、施設からの、ご意見ご要望に対応し、医療現場、読影現場の課題に応えることを目指してまいります。

また、当社が展開する L-Share シリーズ「L-Share Router」、「L-Share pPACS」などとの連携を活かした遠隔読影、地域医療連携など、さまざまな利用シーンを想定したソリューションを提案してまいります。

●「L-Share Viewer」について

L-Share Viewer は、PET-CT 診断の高速化・高画質化に対応した PET-CT 診断用の DICOM 画像ビューアです。2 つの特許技術（SUV navigator/部分容積効果補正解像度増加法）により約 30%の読影時間短縮を実現します。また、PET-CT 診断だけでなくあらゆる DICOM 画像の診断、閲覧も可能で、スモールスタート、遠隔読影など、さまざまなシーンに利用できます。

販売名：画像診断ビューア「L-Share Viewer（エルシェアビューア）」

医療機器認証番号：229ADBZX00127000

●「L-Share Viewer」の貸出しについて

L-Share Viewer は、お貸出しも可能です。ご希望のお客様は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

* DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) :医療用デジタル画像と通信に関する標準規格

* L-Share は(株)アイ・エス・ビーの登録商標です。

弊社が展開します「L-Share 製品」の詳細については以下の HP をご覧ください。

<https://lshare.isb.co.jp/>

お問い合わせ先

株式会社アイ・エス・ビー

東京都品川区大崎 5-1-11 住友生命五反田ビル

TEL 03-3490-1761 (代表)

FAX 03-3490-7718

<https://lshare.isb.co.jp/contact.html>

※記載された内容は 2021 年 03 月現在のものです。